

(様式 4・1)

令和 7 年 4 月 8 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しています。

この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究課題名	アルコール依存症患者への壮年期からのサルコペニア・フレイル対策の必要性についての検討
研究責任者 所属・氏名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 栄養管理室 八木翼
研究概要	<p>【目的】アルコール依存症患者にみられる偏りのある食生活、身体活動量の低下、外出機会の減少に伴う日光浴不足などの生活習慣はサルコペニア・フレイルの促進因子である。そのため同年齢の健常者に比べてサルコペニア・フレイルに陥るリスクが高いことを意味するが、現在のところアルコール依存症領域においてサルコペニア・フレイルは高齢者のアルコール関連問題の一つとして捉えられているのが現状である。AWGS2019(サルコペニアの診断アルゴリズム)や J-CHS 基準(身体的フレイルの診断基準)に用いられている握力のカットオフ値とアルコール依存症患者の握力値の比較を行い、年齢との関係性について電子カルテを用いて後方視的に把握すると共にアルコール依存症患者への壮年期からのサルコペニア・フレイル対策の必要性について検討することを目的とする。</p> <p>【意義】アルコール依存症患者に対するサルコペニア・フレイル評価を行い、握力低下がみられる者に対して栄養やリハビリ等の早期介入を行うことによりアルコール依存症患者の健康寿命の延伸に寄与できるため、本研究の臨床的意義が高いと考えられる。</p> <p>【方法】大阪精神医療センターでアルコール依存症治療プログラムへの参加歴があり 2023 年 11 月 1 日から 2025 年 1 月 30 日までに握力を測定した症例について電子カルテを用いて後方視的に情報収集し、アルコール依存症患者への壮年期からのサルコペニア・フレイル対策の必要性について検討する。</p>

研究対象者	大阪精神医療センターで入院もしくはデイケアのアルコール依存症治療プログラムに参加歴があり握力を測定した患者
研究実施期間	研究実施許可されてから 2025 年 9 月 6 日まで
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究協力者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。以下の問い合わせ先にご連絡ください。
個人情報の保護の方法	取り扱う情報は、氏名、住所、生年月日、電話番号等の個人を識別できる情報を削除した上で研究・解析に使用する。ただし、追跡調査を行う時のために、患者 ID 番号の代わりに任意の ID 番号を付け、患者を特定できる対応表を作成する。対応表は当センター電子カルテ端末に保管する。
個人情報の開示に係る手続き	下記、問い合わせ先に連絡ください。
問合せ先	地方独立行政法人 大阪府立病院機能 大阪精神医療センター 栄養管理室 八木翼 (代表)072-847-3261